

第 94 号



発行所

大阪市史跡 霊亀山 九島院
龍溪禅師墓所
〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号
TEL 06 (6583) 2725 FAX 06 (6583) 0908

発行者

第廿六代住職 奥田 穂積 (明勝)

当院は、阪神なんば線で、なんばから7分です。

施されたら施し返す 恩返しだよ！

返恩より知恩 感謝の心が大事

多くの人の心を掴んではなさず世間の耳目を集めた人気テレビドラマ『半沢直樹』が終わりました。最終回の総合視聴率が44.1%という高視聴率で「半沢ロス」の言葉まで生みました。

前回は「やられたら、やり返す。倍返しだ！」の半沢の決めゼリフが流行語にもなりましたが、今回は、仇敵の大和田取締役が放った「施されたら施し返す。恩返しだよ！」半沢の「大事なのは感謝と恩返しだ」などが話題をよびました。

恩という言葉は、「恩着せがまし」という言葉にあるように、「恩返し」を強要されるような印象をもちます。恩を着せて、恩返しを強要するのは打算的で、ギブ・アンド・テイクそのものです。

また、受けた恩はすぐに返さないといけないと考えがちですが、それも間違っています。

仏教では「恩を返せ」というよりも、むしろ「恩を知れ」と教えてい

るからです。恩という言葉は古代インドのパーリー語の『カタンニニュー』で、「なされたことを知ること」といった意味です。

私たちが誰かに恩を受ける。そのとき、私たちがすべきことは、相手が私にして下さったことをよくよく噛みしめることです。そして、なかなかできないことをしてくれたのだと知るのが恩なのです。「恩知らず」という言葉にあるように、恩を知らないことが、まず責められるのです。

その意味では「知恩」ということが、いちばん大事なことです。まず「知恩」があって、それから「辺恩」があるべきなのです。

そうでないと、受けた恩に対していきなり返恩を考えると、これだけ返せば十分だろうと、頂いた恩を小さく見積もり、自分が返したものを過大に評価してしまいがちになるのです。だから、恩を「ギブ・アンド・テイク」で考えてはいけません。

返恩など、所詮不可能かもしれません。受けた恩をすっかり返し気になつてい



るのは人間の傲慢なのです。私たちは受けた恩をよくよく知り、しっかりと感謝の気持ちを持ち、そして誰でもいいから他人に自分にできることをさせていたたくようにすべきなのです。

それこそが真の「返恩」なのです。

かつて、薬師寺の高田好胤長老は、結婚式に招かれると、「新婚旅行中に二人で読むように」と、『父母恩重経』を新郎新婦にプレゼントされておられました。

自分たちを育ててくれた両親の苦労を知り、感謝の心を持てば、間違いなく両親を幸福にできるからでしょう。

九条十五景シリーズ

『川口懷古』と『中央大通』

◎景『川口懷古』

嘗見白亜洋館重
氣燈街衢回尋蹤
本津川畔思往事
黃葉翻風聽早登

(大意)

川口は白亜の洋館が立ち並んでいた。瓦斯燈が輝く居留地は跡形を探すことができない。川畔で過ぎ去りし昔を思えば、枯葉が風に翻り初秋のコオロギの無く声が聞こえる。

大阪開港（慶応四年七月十五日）とともに外国人居留地が造成され、明治元年七月二十九日、川口運上所で二十六区画、七七四六・五坪が永代借地権の競売が行われた。イギリス（十三区）フランス（二区）ドイツ（四区）オランダ（二区）アメリカ（四区）ベルギー（一区）の外国人が落札し、造成に要した多額の費用も回収された。

まもなく、下水道が設置され、歩道・車道の区別も完備され、道路にはガス燈も輝き西洋建築が建ちはじめた。

最初の入居者は商人が多く、牛乳・牛肉・パンなどの食料品から、革靴・鳥打帽子・洋服など、当時の日本人には珍奇な商品が売買され人々を驚かせた。しかし、商人たちは数年のちには次々と神戸の居留地に移っていった。その理由は、安治川河口で大型船舶の出入りに不便であり、大阪商人の保守性、大阪府の厳しい取り締まりなどであった。その跡地に入居したのは、キリスト教の宣教師たちで、キリスト教会とそれに付属したミツシヨンスクールや病院などが建てられた。ウイールミナ女学校（大阪女学院）永生女学院（プール女学院）照暗女学院（平安女学院）三一神学校（桃山学院）の他、立教学院・大阪梅花学園。聖バルナバ病院・信愛孤児院（信愛女学院）などがつぎつぎと創建された。まさに、居留地の様相は、当時の人々にとって「文明開化」そのものであった。

居留地時代の建物は一つも現存していないが、川口キリスト教会（大正四年再建）が唯一当時の面影を残している。



川口基督教会

◎景『中央大通』

大道浪華西向通
往來車輛有何窮
開催万博五年後
誘客会場功益隆

(大意)

中央大通は浪華大阪の西に向かつて通じている。往來する車輛は尽きることがない。万博が開催される五年後には観光客を会場に誘い、その働きは益々盛んになるだろう。

大阪の道路網は、お城と港を連絡する東西道路がメイン道路で「通り」と呼ばれ、南北道路は縦で「筋（すじ）」と呼ばれる。

終戦直後の昭和21年5月、復興都市計画道路『広路・第一号』として



昭和20年代の中央大通り

スタートした。幅員は船場付近で市内最大の100m（昭和25年に80mに変更）であった。西部と東部は比較的順調に進んだが、都心の船場地区の貫通がデッドロックに乗り上げていた。船場地区は井池織維商の400戸余りの店舗が軒を連ねていたので、手の付けようがなかったのである。当時内閣の実力者・河野建設大臣の陣頭指揮のもと建設に邁進した。地元の意向や経費などの関係で、道路上にビル10棟を建設し、要移転者を入居させてこの懸案を解決した。ビルの屋上に阪神高速道路東大阪線を通すというわが国初、前代未開の「立体道路」が出現した。ようやく、千里で万国博覧会開催直前の昭和45年3月8日に全線開通した。

九条付近は、中央上部に地下鉄大阪港線・阪神高速道路東大阪線が、下部には片道7車線の計14車線・歩道のも広さも大阪一の大通りである。

コロナはいつか終息します。心を強く持つてください。



檀信徒の皆さまへ

行事報告

9/26 8/23 8/22 8/22 8/19 6/27
写経会 (22回目) 参加者 4名
大亀地蔵尊 地蔵盆回向 参加者 5名
お地蔵さんご回向
地蔵盆子ども会 ↓ 中止
水灯会 (お施餓鬼法要) 参加者 30名
はじめての坐禅 ↓ 中止

今秋より行事再開

新型コロナウイルス感染状況を鑑み、中止とした行事があります。残念ではありません。しかしながら、秋の写経会より感染対策をした上で、徐々に行事を再開しました。参加された皆様の清々しいお顔を見ると再開してよかったと思っています。新型コロナウイルス感染の終息は見えませんが、まだまだ油断せずに予防しましょう。(住職)

10/25 修養会 ↓ 中止

11/8 お寺 de ヨガ 14時
20回目の開催。老若男女問わず、誰でも参加OK。(申込制・定員削減予定)

行事予定

3/27 春の写経会 (23回目)
3/23 山門会 (春彼岸法要)

5月 (予定) 九島院マルシェ&ヨガ (3回目)

12/31 坐禅と除夜の鐘

～大晦日の恒例行事～

23時 坐禅開始
23時40分 鐘つき開始

誰でも参加
できます!



ご案内

永代供養付 期間限定個別墓
『龍睡』(りゅうすい)

永代供養墓には納めたいけど、最初からいろんな方々と一緒にではなくて、一定期間個別に手を合わせたいという声から生まれた新たなお墓です。
昨年末からスタートしました。本年1件の契約を頂きました。宗旨宗派は問いません。お墓をお探しの方がいらっしやいましたら、おすすめいただけると幸いです。

契約・納骨

6年間 (七回忌)

永代供養墓合祀



令和3年 年忌早見表

年 忌 早 見 表

年忌	寂年	年忌	寂年
1周忌	令和2年	17回忌	平成17年
3回忌	平成31年 令和元年	25回忌	平成9年
7回忌	平成27年	33回忌	平成元年
13回忌	平成21年	50回忌	昭和47年

プレイト墓石に
好きな文字が彫刻できます

※永代供養冥加金※

1霊 = 77万円
2霊 = 97万円

※上記金額には、永代供養料、管理料、墓地使用料、墓石刻字料、位牌代(本位牌)すべて含む
※墓石にイラスト刻字の場合は、別途1万円必要

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。

九島院のフェイスブック・インスタグラムを作りました! 検索してみてくださいね!

瀬をはやみ

『瀬をはやみ岩にせかるる滝川のわれても末に逢わむとぞ思ふ』百人一首の中にある崇徳院の短歌で『崇徳院』という題名で落語にもなっています。

仁徳天皇を祀る高津さんの茶店で、別嬪の娘さんに一目惚れした若旦那。「瀬をはやみ岩にせかるる滝川の」と書いて帰った別嬪の娘さん。二人とも恋煩いで寝込んでしまう。心配した両家は出入りの者に相手探しに出掛けさせる。ようやく二人は床屋で鉢合わせ「うちとこへ来い」「いや、うちとこへ来い」とつかみあいになる。

間に立った床屋の主人、「そんな別嬪に恋煩いをさせるとは若旦那はよほど仁徳のあるお方でんな」「ニン徳あるはず、見そめたのが高津さんや」

ずいぶん以前のことで、毎朝犬の散歩をする松島公園で、ある時草むらに信楽焼のメス狸が捨ててありました。一週間経ってもそのままなので、拾って帰り本堂と会館に挟まれた中庭に置きました。

昔教師の時に遠足で行った信楽で狸の焼き物に魅せられ、大小の狸の焼き物を集めその庭に置いています。オス狸が一般的ですが、メス狸を混ぜた方がよいと言われ、2体のメス狸も置いています。

某檀家さんのお宅へお参りした時、玄関先の植え込みに古びた狸の信楽があり、尋ねたところ「勝手に誰かが捨てていきよった。よかったら持って帰るか」と頂きました。

庭に置くと、大きさといい色のはげぐらいといい公園から拾ってかえったメス狸と全く同じで一対の夫婦のようでした。

「瀬をはやみ岩にせかるる滝川の・・・」の崇徳院さんの短歌さながらに、末には(将来)夫婦となった古びた信楽狸が大勢の狸に祝福されているように、仲良く寄り添い、こちらを見つめています。

龍灯会館とりあいドアのところにある水道栓の横の樹木の下に、件の古びた夫婦狸がありますので、御来院の折りにご覧下さい。



九条から阪神と近鉄を使って神戸・奈良へ！更に京阪で京都までの延伸計画あり！

奉納便り

○金孝拾萬円志納(令和2年9月23日) 橋本明様
☆実家の岡本家先祖代々の供養にと奇進されました。梵鐘台の費用の一部に使わせて頂きます。有難うございました。

編集後記

▼コロナで明け、コロナで暮れた令和2年でした。昨年の今頃、こんな年になるなんて誰が想像したでしょうか。

▼今までのあたりまえの生活が一変し、ウイルスとの共存を前提とした『新しい生活様式』が提唱されています。

▼小生も、この春以来どこにも飲みに行っていない。「おうち時間」が増え『まな板彫刻』を始めました。

▼檜のまな板に墨書の文字を刻字し、着色するので、印鑑のように文字を逆さにする必要もなく、小学時分に木製の机に落書きを刻んだような稚拙なものです。「熱しやすく冷めやすい」性分ですが、今のところ作品の数も増えています。(閑栖記)

▼昨年は小生の晋山式に奔走する一年。本年はコロナ禍

で、予定していたお寺の行事が出来ずに終わりを迎えます。▽コロナ禍で趣味のランニングに没頭しました。8月を除き、毎月200キロ以上は走っていました。

▽10月には久しぶりとなるマラソン大会に参加。しっかりとしたコロナ対策をされた大会運営に頭が下がる思いで一杯走りました。

▽久しぶりで走る前は緊張しました。自己新記録を目標に走った結果、3時間22分40秒。自己記録を14分も短縮。最高に気持ちの良い瞬間でした。年齢を重ねてもまだまだ進化できることを実感できました。

▽11月に推薦を受けて黄檗宗の宗会議員となりました。身の引き締まる思いです。これを機に自分自身を磨いて進化させたいと思います。九島院及び黄檗宗の発展に尽力できるように頑張りたいと思います。(住職記す)

お知らせ

のぼり奉納の募集

1旗金2千円

『南無観世音菩薩のぼり』を入れ替えます。1年間境内に掲げます。昨年同様、お施主さんを募集いたします。為書きと施主名を墨書します。ご希望の方は、寺務所までお声かけ下さい。

墓地管理費のご納付をお願いします。墓参りの折、郵便振込みでも結構です。